

第2部 留学生によるプレゼンテーション

「日光東照宮と栗山地域の『地域おこし』再発見！」

Aグループ 代表：嶋脇彩佳（国際学部国際社会学科2年）

国際交流都市日光の再発見

グループA
嶋脇彩佳
Leung Hai Wah (中国)
キム・ジユン (韓国)
Sattasomboon Sutthinee (タイ)
コウシンレイ (中国)
日光市：山田さん、芦野さん



アウトライン

- フィールドワーク①
- アンケート結果
- アンケート分析
- フィールドワーク②
- アンケート結果
- アンケート分析
- 提言



フィールドワーク①

アンケート調査

- 目的：観光都市日光の現状を知り、更なる可能性を探る
- 日時：2017年12月3日(日)13:00~14:30
- 場所：日光東照宮
- 対象：調査エリアの通行人
- 調査方法：対話方式の聞き取り調査



フィールドワーク①

アンケート結果

回答者	交通手段	良かったところ	不便だったところ
1 タイ(青年の留学生)	電車	おみくじ	自動販売機の飲料価格が高い
2 タイ	電車	自然・情緒	入場料が高すぎる
3 タイ	電車	自然(木)/雰囲気	体が不自由な方にとって歩きづらい
4 在日外国人(国籍不明)	電車	好意	値段が高い
4 タイ	電車	雰囲気(大きな木が好き)/空気が新鮮	英語が話せる人少ない
7 日本(大学生)	電車	鹿の餌	駐車場の値段/場所がわかりづらい
8 在日外国人(中国)	電車	食事場	—
8 東京	電車	—	鹿りに伺わない
9 アメリカ	車	静か	—
10 地元	—	—	祈願の場所の解説
11 東京	バス	温泉	鹿りに伺わない
12 ニューヨーク(オーストラリア)	電車	日光自体が良い	施設の機械質/出しの値段が高い
13 地元	—	—	歩きやすい
14 東京	電車	—	歩きやすい
15 東京	電車	温泉	電車の乗り換えが不便
16 神奈川	電車	温泉	寝が多い
17 群馬	電車	温泉	地元の人に特典
18 東京	電車	温泉	電車不便
19 高校(学生寮に用事)	電車	温泉	飲み入れる場所がない
20 台湾(原住)	電車	温泉	電車での行き方がわかりづらい
21 韓国	電車	—	駐車場/地図
22 インドネシア	電車	—	人のガイド

フィールドワーク①

アンケート分析


- 良い点
 - 1 自然
 - 2 食べ物
 - 3 建物
- 問題点
 - 1 交通
 - 2 費用
 - 3 サービス



フィールドワーク②

アンケート調査

- 目的：観光都市日光の現状を知り、更なる可能性を探る
- 日時：2017年12月10日(日)13:00~14:30
- 場所：日光市湯西川温泉、平家の里周辺
- 対象：調査エリアの通行人、お店の方
- 調査方法：対話方式の聞き取り調査



フィールドワーク②

アンケート結果

回答者	交通手段	良かったところ	不便だったところ
群馬	電車	温泉/酒	看板がわかりづらい
東京	電車	田舎の静かさ	コンビニが少ない
埼玉	電車	温泉/酒/静かさ/自然	ガイド案内
東京	伊勢国送迎バスツアー	自然	交通が不便/見所がほしい
東京	伊勢国送迎バスツアー	温泉/酒	-
東京	湯西川ホテル無料送迎バス	温泉	交通が不便/店が少ない
地元(蕎麦屋の85歳女性)		東日本大震災の影響大きかった 季節によって集客に波がある	

フィールドワーク②

アンケート分析

- ・良い点
 - 1 自然が豊か
 - 2 温泉
 - 3 酒
 - 4 バスツアーでの集客
- ・問題点
 - 1 交通
 - 2 サービス



提言

サービスの改善

- ・英語の情報、値段を下げる、パワースポット、案内人
- ・交通の便(レンタサイクル、駐車場、駐輪場)
- ・一つの観光資源プラスα ex 食べ物 → 宿泊客アップ

発信 (特に栗山)

- ・SNS(フェイスブック、インスタグラム、ブログ)
- ・グループツアー



提言(具体案)

案内人案：国際交流に興味のある若者×外国人観光客

- ex) 地元の学生・大学生ボランティア
全国の学生・大学生：短期プログラム

SNS宣伝案：ブログやインスタグラム ツイートで特典付与



Bグループ 代表：本田みのり（国際学部国際文化学科4年）

国際交流都市日光の再発見

～学生が考えるもう一つの地域発展プラン～

<Bグループ>
本田 みのり（日本）
イスモイロフ フシバフト（タジキスタン）
唐 イキン（中国）
ラマハン シュタイク ハビブル（バングラデシュ）
ヨー ロタン（中国）
馬場 和子、星野 由紀（日光市）

(敬称略)

アウトライン

- 1 第一回フィールドワーク（日光東照宮）
 - ①活動内容
 - ②インタビュー調査の結果
 - ③私たちからの提案
- 2 第二回フィールドワーク（湯西川温泉）
 - ①活動内容
 - ②インタビュー調査の結果
 - ③私たちからの提案

1 第一回フィールドワーク（日光東照宮） 12月3日（日）実施

1-① 活動内容

- 日光東照宮見学
- インタビュー調査



1-②(1) インタビュー調査の結果（観光客）

良いところ

- 自然が美しい
- 景色がきれいで、写真を撮るのにちょうどいい
- すばらしい芸術（彫刻や絵など）

問題点

- 案内所がバラバラに点在しているので、ひとまとめにして総合案内所のようなものをつくってほしい
- 階段が険しく、手すりも無いのでお年寄りや体の不自由な人にとっては大変

1-②(2) インタビュー調査の結果（働く人たち）

心がけていること

- 美味しい食事を提供したい
- 観光客の要望に応えられるようにしたい（案内など）
- 観光客とのコミュニケーション

問題点

- 言語の壁
⇒外国人観光客が増えてきている（中国、ヨーロッパ各国、アメリカetc.）ので、言葉がわからないこともある
- 寒さが厳しい冬は、観光客の数が減ってしまう

1-③ 私たちからの提案

- 階段へ手すりを設置する、またはエスカレーターをつくるなど、お年寄りや障がい者に配慮したバリアフリーな環境づくりをする
- 外国語で書かれた看板（案内板や地図）をさらに増やす
- 冬でも観光客が楽しめるような催し物を行う（ex. 栗山地域のかまくら祭り）
- 案内所と観光名所のチケット売り場をひとつにまとめた、総合的な観光インフォメーションセンターをつくる

2 第二回フィールドワーク（湯西川温泉） 12月10日（日）実施

2-① 活動内容

- 足湯体験、平家の里見学
- インタビュー調査



2-②(1) インタビュー調査の結果（観光客）

良いところ

- 宿泊施設の雰囲気が落ち着いていた
- 食事が美味しい
- 温泉が心地よい

問題点

- コンビニやATMが付近に無い
- ほとんどの宿泊施設では、現金でしか料金を支払うことができない
- 夜でも楽しめる娯楽施設が無い

2-②(2) インタビュー調査の結果（働く人たち）

良いと思うこと

- 外国人の観光客が増えている（昨年は中国人が多かった）
- 紅葉、かまくら祭り、平家大祭の時期は、例年観光客が多くなる

問題点

- バスの最終時間が早すぎるので、日帰りの人は、かまくら祭りの夜の灯りを楽しめない
⇒ 乗り遅して、駅までお店の人に送ってもらった観光客もいる
- 観光案内所が無い
- 言語の壁（メニューの表示方法など）

2-③ 私たちからの提案

- バスの本数を増やす
⇒ 最終時間も延長してもらおう
- 宿泊施設に、クレジットカードやオンラインでも料金を支払えるようなシステムを導入する
- 湯西川温泉街や栗山地域について記載されたパンフレット（日本語版と外国語版）の内容と量を、さらに充実させる
- 夜間営業の店舗を増やす（居酒屋など）
⇒ 夜間なので、観光客にある程度のモラルを守ってもらうことが前提


Cグループ 代表：阪本那奈恵（国際学部4年）

日光再発見
—留学生と「まちづくりと観光開発」を考える—
グループC

メンバー

坂本 那奈恵
衛 卓琳
ポーシネット
リ ジョンヒョン
石 文君

衛さん・石さんの意見



- ▶ 日光東照宮の課題
 - ・言語の問題 → 外国人の観光客が多く、中には日本語が分からない人もいるのに、外国語の表記が少ない。
- ▶ 湯西川の課題
 - ・観光客の数が不安定 → 冬(かまくら祭り)、秋(紅葉)、土日は観光客数が多いが、その時期以外は少ない。また、日帰りの観光客が多い。
 - ・交通が不便である。
 - ・案内の看板の情報が不十分である。

- ▶ 湯西川の課題
 - ・言語の問題 → 飲食店などで、多言語のメニューがないと外国人に説明するのは難しい。
 - ・知名度の低さ → かまくら祭りなどの魅力的なものがたくさんあるのに、その知名度が低い。

解決策の提案

- ▶ 多言語表記を増やしてほしい

例) トイレや駅の案内の看板、交通情報についての案内など

- ▶ 日光市や栃木県のホームページで湯西川の宣伝を行う

例) 宣伝用のビデオや多言語での宣伝ポスターなど


- ▶ 「かまくら祭り」を栃木県の代表的な祭りにする

→ 政府機関から支援をもらい、日光の観光業を盛んにすることで、若者が帰ってきたいと思うような、魅力的な地域になると思う。

ポーシネットさんの意見

- ▶ 歩道がない

→ 車道と歩道が一緒なので歩行者にとって危険



解決策の提案

- ▶ 簡易的な歩道をつくる

リさんの意見

坂本の意見

- ▶ 湯西川の課題
 - ・名物・名所が少ない
 - ・子どもが遊べる場所がない
 - ・多言語での表記がなく、外国人にとっては不便

解決策の提案

- ▶ 湯西川の魅力である自然を生かした名物や名所を創り出す
例) 桜並木、紅葉スポット、子どもが遊べる公園など
- ▶ お店や公衆トイレに多言語表記の案内を設置する
- ▶ 地元の人が意見を言える場を作る

Dグループ 代表：于遠（国際学部研究科1年）

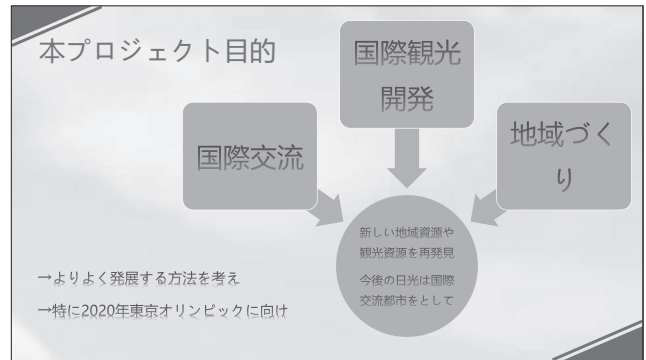
国際交流都市日光の再発見

一まちづくりと観光開発プラン



グループD
 于 遠(中国)
 趙 曉辰(中国)
 バトスヘ ウヌビレグ(モンゴル)
 キアン・リーダー(カンボジア)
 グエン ティ バン(ベトナム)
 石川 茂(日光市)

Let's go ,nikkou !



プロジェクトの実施と分析

「フィールドワーク①」 日光東照宮エリア
 「フィールドワーク②」 栗山地域

観光客の方(6人)		働いている方(7人)	
中国人 ⇒ 2人(20代学生)	茨城県 ⇒ 1人(30代会社員)	案内 ⇒ 1人	運転手 ⇒ 1人
千葉県 ⇒ 1人(40代会社員)	群馬県 ⇒ 2人(60代主婦)	販売スタッフ ⇒ 4人	レストランスタッフ ⇒ 1人
総合点数: 4.0		総合点数: 3.0	

良いところ(観光客の方)

- ✓ 自然の風景がいい、旅行者向けの施設大満足
- ✓ 悠久的に歴史と建物により、日中一衣帯水という関係をよく見える
- ✓ 手づくり物がいい、ゆばが美味しい
- ✓ 災害、台風とかほとんど少ない、長時間に居住したい

- ✓ 東照宮が有名な観光地で、諸々物語、伝説であり、面白い
- ✓ 日光の歴史に関わる説明があるので、全然知らないことをよく知られ、外国語でもあり、優しい
- ✓ ほんまの温泉が最高、関東地区にトップであり、大人気なもの

アドバイス(観光客の方)

- 日光に関わる情報をもっと宣伝する(インターネット、アプリ)
- 東照宮以外の場所、外国語の提示するよう看板をもっとセットし、ガイドブックを増やす
- 日光に泊まりのとき、日光・栗山の多くの時間がかららない交通コースを提供し、特に外国人の観光客が迷子になりやすい
- スペシャルなお土産、地元でしか買えないお土産を買って欲しい
- 大手会社が支社を設立し、日光の経済力を高める

良いところ(働いている方)

- おもてなし、親切で丁寧に接客すること
- 道を分からないとき、熱心にご案内すること
- 外国人の観光客に英語で対応することできる
- ツアーの観光客にいい旅を作って差し上げる同時、諸々案内をすること(道、お店、温泉)

問題点(働いている方)

- ◆ 言語のこと、英語以外の外国語、言葉が通じできない(一番人気な中国語、韓国語)
- ◆ 外国語版のガイドブックが内容が詳細でない、道に外国語の標識が少ない
- ◆ 場所と場所の間に看板の立ちが少なく、迷子になった観光客の不安な気持ちよく見える
- ◆ ご案内所が少ない、外国人は困ったとき、問い合わせることができない
- ◆ 観光客に対して防寒対策対応がわるい
- ◆ 年配の方に突発であることに対応の仕方がない
- ◆ 観光客が大勢になっているとき、1つの店舗に集まることが多い、不安になる

アドバイス(働いている)

東照宮エリア

- ・ ATMを増やす
- ・ ホテルをもっと建てる
- ・ 若者の労働者が協力して働いている同時、外国人も受け入れ
- ・ 文化祭、山登り、ハイキングなどイベントを開催していくこと
- ・ 美術館の立ち、日光の1年中撮られた写真を観光客に見せてあげる

栗山地域

- ・ 食事をする場所選択肢が少ない、おいしい日本料理店をもっと増やす
- ・ 季節により、いろんなイベントを作ってアピールしていく
- ・ ゴールデンウィークは家族旅行が多いため、駐車場を広げる
- ・ 防寒対策、暖房付いてる休憩室とお湯を提供する場所

インタビュー調査



日光東照宮エリアの風光



栗山地域



感想とまとめ

- ①国際交流ができて、よかった!
- ②日光に対し、問題点と解決策を一緒に考えるべき
- ③高齢化の影響—若者たち
- ④日光悠久の歴史を知り、豊かな自然と人間たちの知恵と共に
- ⑤自分ができること
- ⑥また行ってきたいところ

Eグループ 代表：タマンラズクマリ（国際学部研究科1年）

NICE 日光

グループ E

クマリ(ネパール)
張承嶺(中国)
ジュリンサ(中国)
アレシュ(チェコ)
コウランチュク(中国)
福田拓末(日光市)

行こう！

日光市について

位置：栃木県北西部、北は福島県、西は群馬県に隣接
面積：1,449.83㎡（県の1/4）
気候：内陸性気候
人口：82,327人（平成28年）
・日光地域：13,364人
・栗山地域：1,322人

観光：
入込数：11,391,376人
・日光地域：6,045,291人
・栗山地域：371,565人
宿泊者数：3,316,000人
・日光地域：1,247,832人
・栗山地域：242,863人
外国人宿泊者数：92,448人
・日光地域：54,916人
・栗山地域：1,293人
観光資源：非常時多元的で、国内外から多くの観光客が訪れている。

参考：(平成28年度)日光市役所/市のデータ

まちづくりと観光開発プラン

- 1 プロジェクト目的
- 2 フィールドワーク
- 2.1 日光の一番の思い出 2.2~2.5 インタビュー分析
- 3 働く人たちの声 4 改善提案
- 5 グループEの視点

1 プロジェクト目的

一つ目 問題の認識

二つ目 改善提案

三つ目 解決策

2. フィールドワーク

東照宮—世界遺産
フィールドワーク 12月3日
● インタビュー対象 19名
● 外国人5名 日本人14名(スタッフ2名含む)

湯西川温泉街
フィールドワーク 12月10日
● インタビュー対象 14名
● 日本人観光客9名 (スタッフ5名)

2.2 日光の一番の思い出は？

アンケート調査の際観光客から日光の一番魅力的な所と言われたことは以下である。

陽明門と東照宮

- 日光の史跡
- 世界遺産
- 伝統芸術
- 歴史的
- パワースポット
- 平和な場所

中禅寺湖

- 湖
- 景色が素晴らしい
- 紅葉

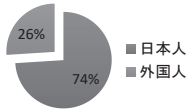
山(栗山)、温泉

- ダム
- 無料足湯
- ふじりんご
- 美味しい食べ物

日光観光地域

2.3 インタビューと内容分析

4. 東照宮へのインタビュー対象



2.4 東照宮の観光客が感じた不便なところ

日本人観光客

- ① 観光地がバリアフリーの不足（階段多い、子供連れ便利なサービスが不足、ベビーカーを使えにくい）
- ② ガイドが少ない。
- ③ 年寄りにもっと見えやすい、わかりやすいガイド看板を増やす必要がある。

外国人観光客

- ① 英語や中国語ができるスタッフはとて少ない。
- ② 看板や地図が少ないため、道に迷いやすい。



※ 旅行している際に、何も不便なことがないと言う観光客も多少いる。

2.5 湯西川温泉の観光客が感じた不便なところ



- ・交通手段が不足。
- ・東京からの高速道路内が不便。
- ・スタッドレスタイヤが交換できる場所がない。
- ・トイレ、休憩室が少ない。
- ・子ども連れの遊び場がない。
- ・冬の時期とかのイベントが少ない。
- ・地図と案内看板が少ない。

※湯西川温泉では外国人客さんが非常に少ない！

3. 働く人たちの声

東照宮

- 観光客に対して場所案内、地図や展示物を教えている。
- 観光客が望んでることを上手に対応できている。
- 多く外国人は、英語が分からない、日本語ができない為、対応難しい。外国人観光客のために通訳スタッフを増やすべき。
- 東照宮がメインスポット、その他の観光資源の有効利用が必要だ。
- 外国人スタッフが働けるように努力して行きたい。

栗山地域（湯西側、平家の里）

- 去年から栗山の方に外国人観光客の数が増えている。
- 栗山地域は日光に属するけど、日光は日光 栗山は栗山。山の奥なので観光客の数は日光より相当少ないです。大都市より栗山地域ならではの魅力は自然がきれいで癒される力があります。
- 宿・ホテル予約サイトじゃらんなどの連携。
- 地域観光のPRパンフレットを作成する。
- テレビ番組を載せる。

3. 改善提案

東照宮

- お年寄り・お子様連れのお客様にも向いている東照宮エリアができればプラス面になる
- 外国語ができるスタッフを増やして外国人にも遊びやすい場所
- 飲食店を増やす、外国人観光客のニーズに応じて、数が多い国の飲食店を増やしたほうが観光客に満足させられる方法として考えられる
- 交通費の政策を改善する

湯西川温泉

- 交通手段がもっとあったほうがよい
- 途中で休憩場所、地図案内がもっと見やすくなる
- 地域差別（日光のイメージが東照宮と中禅寺湖に限っている為、栗山地域の宣伝に力を入れること）
- 冬の栗山地域はお客様さんの数が非常に少ないため、イベントを増やす
- スタッドレスタイヤが交換できる場所
- 無料足場があるからこそ使い捨てタオルの提供

5. グループEの感想

ネパール人として

母国と日光の神社、自然などと共通してあるところをたくさんあると思う。特に今回のプロジェクトでは栗山地域で現在のネパールの村人の日常生活に使用されているものを平家の里に見ました。日光は伝統、自然と歴史の事を学べる場所である。このように昔の事を大事にされているにも関わらず、観光客の数が少ないかなと思いました。

デュク人として

私は特に外国人観光客を対象にインタビューを行いました。異なるエキゾチックな文化や建築が楽しめますが、やはり外国人としては日光に来る時に詳しい情報が少ないです。四年前初めて来た時には、栗山と湯西川のことはいくらも知りませんでした。今回のプロジェクトのおかげで他の日本の美しい場所を見ることができました。

中国人として

今回のプロジェクトを通して、日光市の東照宮、湯西川温泉などいろいろな場所を回って、私たちは歴史、日光市の文化や歴史などを認識できました。同じ日光市にある東照宮と栗山地域を比べると、栗山の観光客がかなり少ないと驚きました。栗山は東照宮に劣らない景色がありますが、やはり知名度が低く、宣伝力不足の原因で、観光客のほとんどは東京あるいは隣県からきています。また、中国人はスマートフォン会計あるいはQRコードの支払方法が便利のため、中国国内ではほとんどの店で、この支払サービスが提供されています。しかし、栗山では、支払方法は現金だけに限られていて、少し不便だと思います。